

	経済	文化	人づくり
<p>新たな価値創造</p>	<p>ICTの活用、イノベーション創出、生産性向上、科学技術、デザイン強化、ベンチャー支援、くすり集積、サポート体制、農林水産業成長産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフラや勤勉な県民性などに恵まれているので、「高度で高密度な工業化」を目指すべき ・異分野技術をつなぐ産学官連携オープンイノベーションの仕組みづくり ・わが国はもとより世界が抱える課題を克服する未来の産業創造 ・サービス産業の活性化・生産性向上、専門支援人材の活用 ・付加価値の源泉となる科学技術分野の取組強化 ・デザインによるものづくり産業の高付加価値化 ・ベンチャー企業の創出環境の整備・育成支援 ・次世代育成のための中規模企業の統合化 ・世界をリードするスペシャリティーファーマの集積、医薬品産業の一大拠点づくり ・菓業の県内栽培量を増やす戦略的な取組み ・ICT、IoT、ビッグデータ、人工知能などへの遅滞のない取組 (「第4次産業革命」への適応検討、ビジネスチャンスとしての可能性探索) ・ベンチャー企業の創出環境の整備・育成支援、民間投資の促進、金融機関との連携、地域中核企業の支援、経営支援体制の強化(商工会議所など) ・新しい価値を創造する。しかも、継続的に創造することが重要 ・地方特有の資源の生産性の倍増(ビジネススキームの短縮) ・クリエイティブな経済的価値が生まれてくるような施策展開 ・グローバルニッチトップ企業の創出支援 ・地産池費だけでなく適地適作による水田農業の生産性向上 ・CTLとバイオマスエネルギーを中核にすえた炭素資源の活用 ・すそ野が広いロボット産業に特化した産業政策が有効(介護、産業用) ・亜熱帯性疾病の流行域拡大をテーマとした医薬工連携(GHIT) ・現在の企業規模を守っていくという観点での施策展開 ・富山の弱みである「開業率」を高める施策展開(リスクをとる) ・グローバルトップニッチ企業の高成長強化が重要 	<p>質の高い文化創造、新たな魅力創、地域文化の発掘・伝承、文化的な賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化拠点が担う新たなコンセプト導入【創造・体験・訓練の場】 ・クリエイションを促進する人材を集積するため文化的な環境 ・地域資源、伝統文化、伝統産業のブラッシュアップ ・単なるイノベーションではなく、テクノロジー・オリエンティッド・パリュークリエーション(それぞれの顧客のニーズを具現化するための、製品研究・開発を行う)という考え方を主張している ・伝統文化や生活文化への理解、子どもたちへの伝承 ・富山のユニークネスを発揮した文化の価値創造のための取組 ・伝統文化を守り育てるための施策展開 ・伝統文化を育成して県民に浸透させるための施策推進 ・純粋芸術・伝承芸術の魅力創出と販路開拓 ・経済に文化をつなげる、文化に経済をつなげる相互作用が重要 ・単なる産地ではなく、王国としての「生活デザイン王国」の実現 	<p>創造性を育む人材、価値創造を生み出す力、社会的基礎力の育成、リカレント教育、納税教育、幼少期育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創造性やコミュニケーション能力に優れた人材の育成 ・チャレンジする精神、生涯にわたり学び続ける意欲の醸成 ・継続的な新しい価値を生み出す力の育成 ・ダイアログやディスカッション、ディベートを取り入れた人材育成 ・義務と権利が一体的であること教育 ・多様性を受入れ、豊かな人格を持つ子どもたちの育成 ・「ないものねだりよりも、あるものを活かす」という価値創造 ・若者のチャレンジングな目標を持つことの機運醸成 ・高齢者社会を迎えるに当たっての学校現場での納税教育の推進 ・教育あるいは人材育成のターゲットは、幼少期からが重要であることの醸成 <div data-bbox="1506 705 1893 807" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回懇話会での意見 = 黒字 ・第2回懇話会での意見 = 青字 ・論説委員との意見交換会での意見 = 緑字 </div>
<p>グローバル & ローカル</p>	<p>グローバル戦略、海外販路開拓、グローバル人材、システム輸出、経済文化交流、外国人雇用、訪日外国人受入、国際観光の基幹産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の窓口として地域的ポテンシャルを活かした統合的なグローバル展開 ・地域がグローバル化して世界とつながっていく方向に行く。グローバル化の施策集中 ・世界に開かれた海外企業とのマッチングイベント等の強化(販路、ベンチャー) ・世界に長く通用する高付加価値品の販路開拓、輸出促進(日本のスイス) ・グローバル人材や留学生の受入・雇用促進(就労ビザの延伸) ・外国人観光客の受入環境の整備、外国人定住促進 ・発展有望な国や地域との経済文化交流の促進 ・世界と日本、富山を結ぶ物流の拠点づくり ・東京とは異なる富山の特色を活かし、富山に軸足を置いた海外展開 ・海外企業との共同研究、M&Aの推進 ・世界に行くのではなく、世界から来てもらえるような場づくりの推進 	<p>文化力発信、文化コンテンツの海外展開、文化イベントの開発、異文化体験、ローカルブランディング、防災遺産、食文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外に開かれた文化活動【文化プログラム】の推進 ・東京を経由しない国際的文化交流の展開 ・世界でも珍しい風景、光景の戦略的発信 ・日常の中で異文化に触れることのできる環境整備 ・東京を仲介しないバイパス型の海外文化交流 ・海外の子どもたちと触れ合う文化イベントの推進 ・利賓への芸術系大学の誘致と世界発信、プロ集団の集積地 ・オリンピックを契機とした富山ならではの文化コンテンツの発信 ・立山黒部は東京を向くのではなく、海外に目を向けるべき ・突き抜けた印象、イメージ形成、ローカルブランディングの必要性 ・富山発の防災遺産としての治水砂防技術を世界に発信すべき ・近代美術館の所蔵など県内文化をオリンピックに向けて世界にPR ・富山の「食文化」を首都圏ではなく海外にアピールすべき 	<p>藩校教育、アイデンティティの伝承、グローバル教育、地域の生涯教育、英語教育、産業観光、偉人発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつての藩校を継承したふるさと教育の推進(賢さ2割、豊かさ8割の教育、藩学教育による人材育成(生活的な教育の場)) ・富山の「大地力(不変なもの)」とは何かを考える ・日本人、富山人としてのアイデンティティの伝承 ・日常的に英語が目に入っている環境整備 ・富山に軸足を置きながらグローバルに活躍する人づくり ・「ふるさとに誇りや愛着を持ってもらう」ための施策推進 ・単なるお国自慢ではなく、他地域の人々が富山をどう思っているのかの研究 ・産業観光の推進(文化とものづくりの融合)、学問としての追究 ・教育のダブルスタンダードとして、国の学校制度とは異なる精神的(duty)な教育制度の確立 ・郷土の偉人、隠れた英雄や果ゆかりの現代人を取り上げる
<p>個々(地域)の力の磨き上げ</p>	<p>ものづくり人材の確保、高度専門・プロフェッショナル人材、大学拡充、生産年齢の再定義、高齢者就労、シニア起業、女性再就職、女性の働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり人材【研究者、技術者、プロフェッショナル】の育成 ・「知のロボット」の開発により、労働人口を解決する ・主要企業に移住者への一定の雇用枠を確保する取り組み ・生産年齢人口の再定義が必要(富山県独自の数値を持つことの必要性) ・富山に愛着を持った経営者の育成 ・地域のニーズにこたえる県内高等教育機関の活性化【学部学科創設】 ・理系学生が金融やマーケティングを教育するシステム構築 ・スペシャリスト(匠)を評価する人材育成・確保 ・企業経営における人材投資比率の拡大 ・高齢者の存在意義の向上(嫁老社会からの脱却) ・女性の能力を活かし、登用する事業の推進 ・県内企業のインターンシップを県が仲介する仕組みづくり ・都道府県レベルで生産年齢人口の再定義をおこなうべき 	<p>質の高い文化との接触、指導者・伝承者等の育成、文化施設の利用促進(若者、女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利賓が世界ナンバー1の演劇のトレーニングができる場になるために、芸術だけでなく、宿泊施設、交通手段、食の提供のレベルアップが必要 ・子どものころから質の高い文化芸術に触れられる環境整備 ・優れた指導者から指導を受ける機会の拡充 ・学校教育における芸術文化アドバイザー事業の推進 ・文化的感受性豊かな人材育成 	<p>地域の絆の醸成、次世代インフラ、県土の将来活用、地域が支える健康寿命の延伸、まちづくり、凝集力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山の特色である地域社会の凝集力(人間的な結びつき)を生かす取組みの推進 ・命をつなぐ、文化をつなぐことの大切さを伝えるとともに、家族や地域の絆を大切にすることの大切さの育成 ・産業の活性化を支える新たなインフラ形成 ・適正な県土の将来活用、投資の集中化 ・平均寿命と健康寿命の差を埋める地域をまきこんだ取組(人、もの、金、時間の無駄遣い)の推進 ・人体を尊重する県(売薬、銭湯)、人間の命の尊重が県是 ・災害を克服してきた県の姿、自然を守り育てていくことの継承 ・高齢者にやさしいまちづくり、道路づくり ・2042年を人口減少のピークと捉えた対策が必要

富山県経済文化長期ビジョン懇話会・青年部会のこれまでの議論総括

	経 済	文 化	人づくり
新たな価値創造	<p>ICTの活用、生産性向上</p> <p>ものづくりの新機軸、新産業創出、研究開発、科学技術、起業支援、生産性向上、IoT・ICT活用、課題解決、デザイン、エネルギー・環境、農林水産業の成長産業化、くすり集積、経営サポート、事業継承</p>	<p>文化の価値創造、伝統継承</p> <p>質の高い文化創造、地域文化・資源の発掘、伝承、伝統工芸・伝統芸能の育成・伝承、文化的賑わい創出、クリエイティブ・コンテンツ産業・人材の振興</p>	<p>創造性を育む学校教育（幼児・小中・高等教育）</p> <p>創造性を育む教育、企業や社会が求める教育（ダイアログ、ディスカッション、ディベート）、コミュニケーション能力の醸成、富山型教育の確立、職業体験、キャリア教育</p>
グローバル＆ローカル	<p>グローバル戦略の展開</p> <p>グローバル戦略、海外販路開拓、システム輸出、TPP、農林水産品輸出、外国人雇用、クリエイティブクラス人材受入、国際観光の基幹産業化、MICE</p>	<p>とやま文化の発信</p> <p>文化力の発信、文化プログラムの開発、食文化など文化コンテンツの海外展開、防災遺産の発信、異文化受入整備、ローカルブランディング</p>	<p>ふるさと教育、グローバル教育（一般県民）</p> <p>ふるさと教育、愛郷心の醸成、'県学'教育、偉人発掘、リカレント教育、産業観光、英語教育、留学生受入、グローバル教育</p>
人材・地域の力	<p>個の力の磨き上げ、人材の育成確保</p> <p>ものづくり人材の確保、プロフェッショナル人材の育成、匠の継承、生産年齢の再定義、高齢者就労、女性の活躍の場の創出、大学改革</p>	<p>文化の場づくり、人づくり</p> <p>文化の場づくり、人づくり、文化活動支援、指導者・伝承者育成、文化と若者をつなぐプログラム開発、女性目線での文化振興</p>	<p>地域力（凝集力）の向上</p> <p>地域力（自然、安全安心、健康寿命）の醸成、大地力の教育、高齢者・女性に対する地域ケア、シェアリングエコノミー、県土活用、次世代ICTインフラ</p>